

## 風船に平和への思いを託して…

1月22日は核兵器禁止条約発効4周年の日でした。区内の北之町公園で行われた条約発効4周年記念風船メッセージ行動に、よどっこ保育園とみどり保育園の5歳児が参加しました。こどもたちが『世界中のこどもたちが』の歌をうたい、「ばくだんおとさないで」「ぜんそうやめて」などのメッセージをつけた200個の風船を地域の方々と一緒に大空に放ちました。核兵器をなくし戦争のない平和な世界になることを願って…。



(社会福祉法人西淀川福祉会 理事長 門谷充男)

### 各園所のようす

#### 「わあ～、ゆきや～!!」

昨年12月に5歳児が六甲山へ雪あそび(ソリアそび)に行きました。

みどり保育園の5歳児と一緒に行きました。バスの中でも歌を歌い合ったり、「まだ山見えへんなあ」「あの白いの雪ちゃう!？」とワクワクしながら窓からの景色を見ていました。六甲山に到着すると「わあ～、ゆきや～!!」と大興奮。はじめてのそりあそびは、初めは慎重に、慣れてくると足でのブレーキも上手になり、友だちと2人3人乗りで雪をいっぱいかぶりながら楽しんでいました。雪だるま作りにも挑戦し、付き添いのお母さんたちにも手伝ってもらって手袋の中の手が冷たくなっても出来上がるまで夢中になって作り続けていました。

帰りのバスの中、あそび疲れて気持ちよさそうに寝ているこどもたちの顔を見て、ほっこりした気持ちになったのと、こどもたちが生き生きと育っていきける環境作りを続けていくことを改めて思いました。(よどっこ保育園園長・高橋真澄)

#### 「地震があった日」に…

1月17日に地震の避難訓練をおこないました。この日は朝ニュースを見ていた子どもも多く、「地震があった日」と知っている子どもがたくさんいました。「こわい!」と感じた子どもいたので、阪神淡路大震災以降建物が強くなったことや自分を守るための話をしました。

幼児クラスは電気やガスがとまった時に暖を失わない方法やお部屋の中の安全地帯について考えました。自分たちが過ごす部屋を見回しなが

ら一生懸命考えていました。

乳児クラスはアルミシート(保温シート)に触れたり遊んだり、みんなで包まってみました。

避難時に使う物や行動に普段から慣れておくことが災害時のこどもの安心につながるのではないかと思います。

(みどり保育園園長・藤本恵美子)

### 新しい年にこどもたちの命が 守られることを願って!

2025年が始まりました。昨年のお正月の震災を思い起こし、新年早々、みんなで津波を想定して避難訓練を実施しました。その後、4・5歳児に地震の話をしました。阪神淡路大震災の時の話など、こどもたちは真剣な表情で聞いていました。

寒空の中、5歳児が植えたチューリップが小さな芽を出しました。春に向けて膨らんでいく夢や希望をみんなで確認しながら今年も穏やかに過ごしたいなと思います。

乳児クラスは12月に発表会を終え、2月8日には幼児クラスの発表会があります。大きな節目の行事。こどもたちの成長を確認しあうことはもとより、職員も苦手なピアノを連日練習したり、絵本の教材分析をしあったり、大道具の制作をみんなで協力して作ったりと努力しています。だからこそ、「頑張ったね!」「たのしかったね!」の気持ちを共有しあえるんだと思います。そして、保護者とも共感しあい、仲間同土育ちあう保育所になっていけばいいなと思います。

(佃保育所所長・永谷孝代)

人勸を受けた公定価格改定により数年ぶりに賃金のベースアップを実現。完全週休2日制と合わせて保育士確保につながれば…。(K)